

戦争法・共謀罪廃止させ 愛知を戦争拠点にさせるな！

第21回

小牧平和県民集会

安倍一強体制が崩れつつある一方で、「自衛隊を明文で書き込む」というあらたな改憲案が、秋の臨時国会期間中にも提案されようとしています。

「日報」で明らかになった南スーダン派兵の実態は、隊員が殺し殺される一歩手前まで追い詰められ、現地は戦闘状態であったことが判明しています。これら「戦争する国づくり」は、私たちの生活する愛知でもすすんでいます。

小牧基地はC-130輸送機が南スーダンに派兵されたように、海外派兵の最前線基地化しています。またF-35戦闘機の整備拠点化、次世代の戦闘機X-2の開発など、小牧基地の実態は、戦争法のリアルな状況を映し出しています。

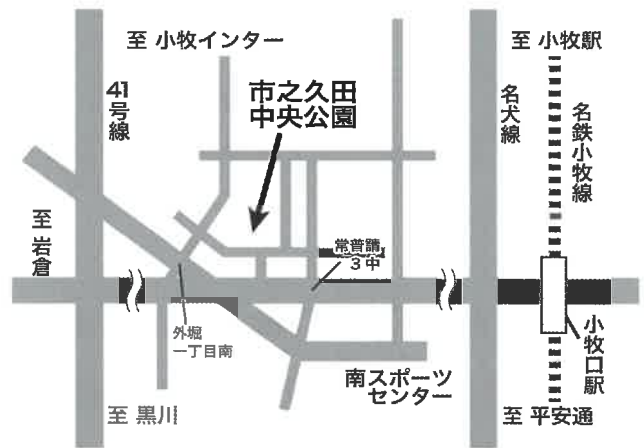
何としても憲法改憲を許さず、戦争法・共謀罪を廃止させ、平和な愛知を築くことが緊急の課題です。平和への願いと運動を、集会に持ち寄りましょう。

10月8日 SUN 日
12:30 ~

小牧市 市之久田公園

名鉄小牧線小牧口駅から徒歩 15 分
バス送迎 小牧口駅 12:20 13:05 時間変動あり 100円

予定 12:30 ~ アトラクション
13:15 ~ 集会
14:00 ~ 平和行進



事前学習会
米軍と一体に
戦争できる国への危機

9月10日(日) 14:00~

場所：名古屋市教育センター講堂 資料代 500円
講演：小泉親司さん(安保破棄中央実行委員会)

小牧基地・現地見学学習行動

9月28日(木) 14:00~

豊山町・神明公園(13:15金山駅北口イオン前からバスが出ます)
参加費：現地参加 500円 バス 1500円 ※定員次第締め切り

主催：小牧平和県民集会実行委員会 連絡先：名古屋市東区葵 1-22-26 TEL052-931-0070 FAX052-933-3249
後援：不戦へのネットワーク

戦争法で小牧基地は…

アメリカ軍の空爆に手を貸す部隊に

戦闘行為中の米軍機に、燃料補給することが可能となり、小牧の部隊がそれを担います。



空中給油するKC-130（左）とKC-767（右）

F-35 整備拠点（三菱重工小牧南工場） …アメリカの核戦争に手を貸す



核兵器 B61-12 を投下する F-35

ステルス戦闘機 F-35 は、敵レーダーに捉えられにくい性能を保有する戦闘機で、「専守防衛」を超えた敵基地攻撃能力を備えています。また F-35 は、米国の核戦略の柱とも位置づけられている B-61 核爆弾の搭載が可能です。三菱重工小牧南工場は、米国核戦略に組み込まれる危険性を持っています

F-35 戦闘機に 276 の重大な欠陥！

2017 年 1 月に提出された米国防総省報告書では F35 戦闘機について「重大な 276 項目の欠陥を特定した」と指摘されています。6 月 13 日に県営名古屋空港で、初号機の試験飛行が行われましたが、20 日の第 2 回試験飛行でいきなり異常警報で緊急着陸をしています。このような欠陥機は、私たちの住む街に必要ありません。

ブルーインパルス

米軍利用に手を貸したくない自治体

小牧基地は 3 月、地元住民と 2 市 1 町の自治体が反対をする中、ブルーインパルスのアクロバット飛行を強行しました。米軍利用にも明確に反対しています。自治体、住民の声を無視し強行する政府の姿勢は沖縄と同じ構造です。



小牧基地に飛来したオスプレイ